令和8年度　事業計画評価シート　　新潟大学附属長岡中学校

（本年度，重点的に取り組む事柄）

【義務教育】生徒の主体性を基盤にして、学力の向上、豊かな人間性、健やかな心身の育成に向けた教育活動の展開
【教育研究】地域のニーズに応える教育研究の推進と、文部科学省の研究開発指定を受けた「ものづくり科」における実践の充実
【教員養成】学生の教職への希望を高めることを目指した教職の良さを感じることができる教育実習の実施

自己評価（中間評価）	
A	とても順調に進んでいる
B	順調に進んでいる
C	あまり順調に進んでいない
D	まったく進んでいない

自己評価（年度評価）	
A	高いレベルで達成できた
B	達成できた
C	一部達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

学校関係者評価	
A	とても適切である
B	概ね適切である
C	あまり適切でない
D	適切でない
E	判定できない

評　価　項　目	具体的評価項目及び指標	自己評価（中間評価）		自己評価（年度評価）		学校関係者(学校運営協議会)評価		学校関係者(学校運営協議会)評価を踏まえた改善策	学校関係者評価を踏まえた改善策への対応状況
		評価	達成状況、改善策	評価	達　成　状　況	評価	意見・理由		
【義務教育を実施する学校として】 生徒の主体性を基盤にして、学力の向上、豊かな人間性、健やかな心身の育成に向けた教育活動の展開 1.探究的な学びを基軸とした学力の向上 2.豊かな人間性の育成 3.健やかな心身の育成	1.生徒が探究的に学ぶ授業を創造し、授業を通して批判的思考力等の資質・能力の育成を図る。生徒の自己評価アンケートで「授業を通して成長を感じた」項目での肯定的評価をした生徒の割合が90%以上 2.生徒会による自治的な活動を推進し、創造性ある活動を実践する。生徒アンケートで、「活動や体験を通して心の成長を感じた」の項目の肯定的評価の割合が90%以上 3. ①有効な運動機会（体育授業、遠足等の行事など）を増やすことで、全国体力・運動能力調査で学年毎の経年変化による合計ポイントが昨年度を上回る。 ②望ましい生活習慣の確立のため眠育に着目し、生活習慣の改善が図られた割合が80%以上								
【教育研究を推進する学校として】 地域のニーズに応える教育研究の推進と、文部科学省の研究開発指定を受けた「ものづくり科」による授業実践の充実 1.「ものづくり科」３年次ににおける授業公開を行い成果を発信する。 2.教育情勢や地域のニーズに応えた内容の研究協議会や講座の実施	1.授業公開する機会を２～３回設定し、参会者のアンケートを実施する。「価値のある実践であった」と回答する割合が80%以上 2.教育研究協議会について効果的な広報を行うことにより、前年度を上回る参加者数の獲得。また、教育研究協議会をはじめ公開授業や協議会、講座の参加者満足度が85%以上								
【教員養成を行う学校として】 学生の教職への希望を高めることを目指した教職の良さを感じることができる教育実習の実施 1.実習生にとって実践につながる効果のある指導 2.ICTを活用した実習プログラムの実施 3.僻地・複式学校への主免教育実習での実施	1.事前指導により実習生の不安を軽減し、成功体験により自己肯定感を高める。教育実習事後アンケートで、教職への意欲の高まりが見られる学生が80%以上 2.年間を通した教育実習において、ＩＣＴ機器を活用した授業実践を行った実習生の割合が80%以上 3.中山間地にある僻地・複式学校への方ものを通して、特色ある学校訪問に価値を感じる割合が90%以上								